備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成25年度事業）

事業の概要

事業開始年度		平成17年度～		根拠法令・例規等	国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）
総合計画	大項目	基本構想	05	環境を大切にして未来につなぐまち	
	中項目	基本計画	09	環境を大切にして未来につなぐまち	
	小項目	施策	40	環境保全対策の推進	
事務事業名			09	庁用物品調達管理事業	

問合先	担当課（室）	財政課
	職・氏名	財政係長・榮　研二
	電話	0869-64-1810
このシート作成に要した時間		3.0　時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	市職員
目的（何のために）	庁用物品、印刷用紙及び揮発油、ガス等の調達業務において、省資源・省エネルギー化に貢献する取り組みを行う。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	省資源・省エネルギーの実現。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
庁用物品調達管理事業	庁用物品・コピー用紙（グリーンマーク商品）の調達、修繕、管理を統括する	◎
燃料関係事務	揮発油、ガス等の単価調達事務	○

事業費等			単位	平成23年度実績		平成24年度実績		平成25年度実績	
決算額	事業費	直接事業費	千円	800		2,969		1,507	
		必要人員人件費		0.08人	740	0.10人	878	0.07人	684
		事業費計		1,540		3,847		2,191	
	財源	国県支出金	千円						
		受益者負担							
		繰入金							
		市債							
		その他（　）							
		一般財源		1,540		3,847		2,191	
	受益者負担比率		%	—		—		—	

結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
説明		庁用物品の管理に要した時間（活動コストは備品購入費を除く）		
結果指標量	時間	184	65	28
対前年比	%	—	35.3%	43.1%
活動コスト	円	434,000	775,000	762,000
単位当たりコスト		2,359	11,923	27,214

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
複合機（コピー機）プリント枚数	目標値（A）	2,100,000	2,200,000	2,200,000	2,100,000
	実績値（B）	2,413,489	2,565,434	2,762,320	到達目標値
	達成率（B/A）	85.07%	83.39%	74.44%	1,900,000

成果指標設定の考え方・式や説明

複合機（コピー機）を使用したコピー、ファックス受信、パソコンからのプリントなどの枚数
多目的に使用できる複合機を導入し、個別プリンターの台数削減を進めている。このため、パソコンからのプリントが、個別プリンターから複合機へ移行しており、複合機のプリント枚数が増加している現状があるが、この枚数を削減することが省資源・省エネルギーの実現に貢献できると考え成果指標とした。

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜　■ ←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性必要性

- ■ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ■ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

有効性の評価

目的達成度市民参画度

- ■ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

進行年度（H26年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				

説明

平成26年度から各課でコピー・用紙代の予算化を行い、使用量に応じた請求を行うことで所属単位で出力枚数の抑制を図る取り組みを始めた。引き続き複合機及び印刷機の出力枚数のモニタリング等を継続しながら、各所属、職員に対して小冊子印刷機能の普及や印刷原稿の厳重チェックを徹底し、1枚でも無駄な印刷をしないという意識を高めることで成果目標の達成を図る。

総合評価

25年度の複合機（コピー機）プリント枚数は、276万枚余りと、前年度より7.7%増加した。このうち、高単価のフルカラープリントについては、出力枚数の多い所属への直接要請・指導を行い、0.8%の増となった。しかし、モノクロをはじめ全体の出力枚数は依然として増加が続いており、目標達成に向けて抜本的な対策が必要である。

総合評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

Action

平成27年度の方向性 ・ 取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				

取組目標

引き続き複合機及び印刷機の出力枚数のモニタリング等を継続しながら、各所属、職員に対して小冊子印刷機能の普及や印刷原稿の厳重チェックを徹底するとともに、特に出力枚数の多い職員個人に対して、聞き取りを行って原因を分析したうえで過度なプリントを行わないよう要請・指導を実施する。